

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年1月18日

1. 職名・氏名 准教授・普照早苗

2. 学位 学位 修士（博士前期課程）、専門分野 看護学、  
授与機関 千葉大学大学院看護学研究科、授与年月 平成12年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

- a. 「在宅看護論」（2単位：2014～2015年度/1単位：2016年度以降）  
2年次後期（いずれも2014年度着任時から担当）
- b. 「在宅看護演習」（1単位）3年次前期（2017年度から新規開講）
- c. 「家族看護論」（1単位）2年次後期（2014～2015、2020年度）
- d. 「在宅看護実習」（2単位）3年次後期～4年次前期（2014～2016年度）  
3年次後期（2017年度～現在に至る）
- e. 「看護理論」大学院（2単位）1年次前期（2020年度は受講生なく開講せず）

※

「在宅看護学特論」大学院（4単位）1年次前期（2018年度～\*受講生なく開講せず）  
「在宅看護学演習」大学院（2単位）1年次後期（2018年度～\*受講生なく開講せず）  
「在宅看護学特別研究」大学院（10単位）2年次（2019年度～\*受講生なく開講せず）

②内容・ねらい

- a. 在宅療養者とその家族を対象に、看護・医療・福祉・保健のあらゆる面から生活の質を高めるよう他職種と連携協働しながら看護の役割を果たす際の重要な視点を教授する。学生は本授業で初めて在宅看護に接するため、在宅看護の基本的事柄を中心に、看護の他分野との関連性も意識させることをねらっている。
- b. 「在宅看護論」で学んだ概説をもとに、在宅看護領域で必要となる知識や実践的ケア技術をグループワーク、演習等による修得させる。3年次後期から実施する「在宅看護実習」へつながる思考の基盤づくりをねらう内容としている。
- c. 3年次実習前という時期に、学生なりの「家族観」を考えさせる。今後看護実践に取り組むうえで「家族とは」という各自の家族観を醸成させるための第一歩を培う内容としている。また、家族看護の国内外における理論・モデルの概要を教授する。
- d. 訪問看護事業所において、1事例を受け持ちとし、訪問看護師と同行訪問する中で実際の看護の展開を行う。訪問看護中の看護実践も教員や看護師と相談を重ね、ケアの一部に関して責任を持って実施する機会をもつ。学生が、自立的に看護職と意見交換できるよう意識して促している。地域包括ケアシステム・地域共生社会を意識し、多職種連携の実際も学ぶ。
- e. 「看護理論」大学院  
オムニバス授業で展開。主に、セルフマネジメントの視点から考える看護モデル、自己効力感（セルフエフィカシー）、エンパワメント、行動変容、病みの軌跡、カルガリー式家族アセスメントモデルを教授。院生には、自身のこれまでの看護実践を振り返りながら、より研究的に発展させていくための方策を考えさせることを意図した。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

- a. テキストを用いて基本的な事柄を説明しながら、教員自身訪問看護師であった経験も踏まえてイメージしやすいように具体例をまじえて解説した。また、DVDや画像など視聴覚教材も最新の物を現場の訪問看護ステーションの協力も得て作成、活用した。毎回の講義後、感

想や疑問点を所定の用紙に書かせ、翌週の講義ではそれについて解説を加え、なるべく早期に疑問点を理解できるようにした。さらに現役の訪問看護管理者をゲストスピーカーとして招聘し、在宅ターミナルの看護の実際について講義を依頼、イメージ化を深める工夫をした。

b.2 年次後期最終日に実施した「在宅看護論」の筆記試験を学生へ返却し、国家試験も意識しながら知識の確認を行なう時間をもった。演習は、現在現場で実施している看護実践ケアに即して、実際の居宅環境に模した N153 福祉実習室で足浴演習と洗髪器を用いた洗髪演習を 1 グループ 4 人の学生編成で実施した。また、自宅学習として口腔ケアを家族に対して実施する課題も課した。

c. 対象が成人・高齢者世代であり、また並行して行う在宅看護論とも密接な関係のある内容であることから、在宅看護論で紹介した事例も想起させながら進捗に努めた。また、次年度 3 年次の在宅看護実習における家族のかかわりにもつながることを意識させたレポート課題を提示し個人ワーク・グループワークを実施した。

d. 実習中、学生が自立して学ぶことを意識させるため、教員・看護師間の打ち合わせを事前にしっかり行い、現地では学生が看護師と相談し、積極的な意見交換ができるようにオリエンテーションを緻密にしっかりと行う。実習終了時は、毎日学生に電話連絡でその日の状況を担当教員に報告させ、学習の進行状況の確認、また問題発生時には早期の対応に努めている。さらに、学生の理解力を図る指標として、口頭だけのやり取りだけではなく、記録に学習内容が反映させているかを把握するため、学生が訪問看護事業所に不在時にも教員が訪ね、実習記録の確認、看護職からの評価の聴き取り等、確認を頻回に行っている。

2022 年度からの新カリキュラム開始に向けて、より在宅看護実習の充実を図るため現地看護職との教育・指導方法の検討を行っている。

e. 「看護理論」大学院（※2020 年度は受講生なし）

基本的、最新の知識を確実に身につけられるよう視覚的資料、スライド写真を多用した。また、院生が 3 人と少人数であったことから、グループワークを講義の間にはさみ、互いにこれまでの看護実践経験を共有し、意見交換できるように双方向授業としている。

## (2)その他の教育活動

### 内容

- ・「福祉のまちづくり論」（2 単位）1・2 年次選択授業・集中講義（2016～現在に至る）  
※今年度は新型コロナ感染拡大防止のため不開講となった。

#### 4. 研究業績

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| (1)研究業績の公表                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |
| ①著書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ナースが行う入退院支援：‘その人らしく生きる’を支える」共著、p.157-166、p.186-190、2020年6月、メヂカルフレンド社.</li> <li>● 成人看護学概論「慢性看護論」（第3版改訂）共著、p.160-164、慢性期にある人への看護援助・アドボカシー、2020年、ヌーヴェルヒロカワ.</li> </ul>                                                                                                                                                                                                       | 【2本】 |
| ②学術論文（査読あり）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 【0本】 |
| ③その他論文（査読なし）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 【0本】 |
| ④学会発表等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第33回日本看護研究学会 近畿・北陸地方会学術集会（2020年3月21日滋賀）示説発表（※普照早苗、佐藤文、梅津千香子、竹内智子：共同研究）「地域におけるオストメイトの療養生活支援のための教育プログラム開発その1～訪問看護による支援の現状と課題～」プログラム・抄録集 p. 41、※新型コロナウイルス感染防止の為抄録発表のみ.</li> <li>● 第33回日本看護研究学会 近畿・北陸地方会学術集会（2020年3月21日滋賀）示説発表（※佐藤文、普照早苗、竹内智子、梅津千香子、宮前奈央：共同研究）「地域におけるオストメイトの療養生活支援のための教育プログラム開発その2～オストメイトの療養生活上の困りごとの現状と課題～」プログラム・抄録集 p. 41、※新型コロナウイルス感染防止の為抄録発表のみ.</li> </ul> | 【2件】 |
| ⑤その他の公表実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 【0本】 |
| (2)科研費等の競争的資金獲得実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |
| 【学外】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● F A A学ぶならふくい！応援事業（福井版P B L支援分）」事業（No.21）、「新卒訪問看護師養成に向けて訪問看護事業所による教育体制の整備」＊研究代表者：普照早苗、梅津千香子、2020年度.</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                              |      |
| (3)特許等取得                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |
| (4)学会活動等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本看護研究学会・広報委員会、リレーブログ編集担当（2015～）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |

## 5. 地域・社会貢献活動

- ①看護協会実習指導者講習会「在宅看護」講義（1コマ3時間）（2014～現在に至る）
- ②看護協会看護研究グループ指導・講師（2015～現在に至る）
- ③福井赤十字病院看護研究学会・研究指導講師（2015～現在に至る）
- ④福井県看護協会訪問看護推進協議会、委員（2018～現在に至る）

## 6. 大学運営への参画

### (1)補職

### (2)委員会・チーム活動

- ①国際部会ワーキンググループ（2019～）
- ②ハラスメント委員会委員（2020～）
- ③看護学科3年次生担任（2020～）

### (3)学内行事への参加

- ①オンライン入試説明会（富山県立水橋高校7月15日、富山県立大門高校8月3日）
- ②大学入学共通テスト試験監督（主）

### (4)その他、自発的活動など